東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は
あなたの手の中に

Vol.43　第2087回例会　2009.7.30

今年度会長テーマ　「誠心誠意、和をもって」“事にあたろう”

■司会：小町例会運営委員

■点鐘：枕山会長

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：
村田会員

■お客様紹介：土方パスト会長

◆ゲスト：東京立川ＲＣ　会長 岡部直人様
幹事 長井　守様
多摩グリーンＲＣ　阿部華歌様

■会長報告　枕山会長

いよいよ花火大会のシーズンになりました。日本最古の花火大会は1733年、大飢饉の餓死者らの慰霊と悪病退散を祈り、江戸･両国で始まったといいます。先週25日に行われました、現在の「隅田川花火大会」が伝統を受け継ぎ、「両国の川開き」と呼ばれ、鍵屋とのれんわけした玉屋の二大花火師が技術を競った時代があり、人気は玉屋に集まり「橋の上、玉屋、玉屋の声ばかり、なぜか鍵屋といわぬ情けなし」鍵と情をかけた狂歌が残っております。各地の花火大会は、里帰りの人達も加わって夏の夜の思い出になります。昨年は樺澤さんのお骨折りで信州長岡の花火を観る事ができました。一度に幾場所から打ち上げる豪快な花火大会、ホテルの屋上での観覧、今でも素敵･素敵だったとの思いです。大変ありがとうございました。帰りには美味しい「おそば」も頂きました。ところが今年は各地で自治体の財政難に加え、企業の協賛金も思うように集まらず、大会の中止か、規模縮小に追い込まれる所が増えているようです。景気づけの花火のはずが湿っぽい。そんな中で派手な花火を打ち上げているのが自民･民主の二大政党です。自民は定額給付金やエコポイント、高速道1000円など大型補正予算の「尺玉」を先んじて打ち上げております。民主は子供手当、高速道無料化や暫定税率廃止など、「スターマイン」での対抗であります。花火は人を楽しませて、あっと言う間に消えるが、それまでには手間暇かけた職人さんが1年間かけた集大成の苦労があり、政党公約

の政策がただ打ち上げ、夜空に消えておしまいでは大いに困ります。少々地味でも国の将来にとって、たしかな政策に庶民は「たまやー」「かぎやー」の掛け声を選びます。先頃テレビで国民一人当たり21万円の費用がかかっていると話していました。棄権をしますと、その金額を放棄した事になるそうです。さて、あなたはどういたしますか。

■幹事報告　高橋幹事

■ガバナー事務所：
日台ロータリー親善会議
再度の登録依頼について
2009年10月10日（土）
登録料：10000円　〆切：8月10日
ツアー4コース設定　10月8日（木）～11（日）の間
費用　約10万～15万円
参考：多摩分区
青梅、秋川、福生中央→参加予定
福生→参加で検討中

■東村山社会福祉協議会：
平成21年度長寿を共に祝う会の案内について
9月12日（土）～10月4日（日）の間
各町内会場にて順次開催

■東村山市長：
東村山市「市民のしおり（2009～2010年度版）」の受理と広告掲載のお礼について

■東村山市国際友好協会：
賛助会費納入のお願いについて
参考：昨年度 国際奉仕委員会より8万円を支出

■青少年交換委員会：
地区青少年交換委員会行事
地区委員費用一部負担のお願いについて
2009年8月10日（月）～21日（金）
来日学生オリエンテーション
於　ＹＭＣＡ東山荘
クラブ負担費用　70000円

■バギオ基金：
バギオ基金寄付金受入口座変更のお知らせ
①三井住友銀行口座
②ゆうちょ銀行口座
→週報担当へ

■出席報告　相羽例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
38	31	0	6	82.86

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：5名

■前々回出席率メークアップ修正後：85.71％

■前々会メークアップ者：
相羽会員：東大和ＲＣ
北久保会員：武蔵村山ＲＣ
目時会員：青梅ＲＣ
當麻会員：地区委員会

■ニコニコＢＯＸ　金子クラブ管理委員

■皆出席：
山本会員（12回目）
二ノ宮会員（7回目）

■会員誕生祝月：
熊木会員

◆當麻会員：ようこそいらっしゃいました。周年行事応援します。
◆立川ＲＣ岡部会長、長井幹事：お世話になります。
◆阿　部　様：先日はお世話様。お礼を兼ねて来ました。
◆溝井会員：ＲＣの皆様、戸澤さん、野村さんありがとう。
◆枕山会長、高橋幹事：ようこそおいでくださいました。
◆田中会員：立川ＲＣ岡部さん、長井さんゴルフでお世話様です。ようこそおいで下さいました。
◆赤木会員：阿部さんようこそ。
◆山本会員：ようこそいらっしゃいました。
◆野村会員：阿部さんようこそ。
◆二ノ宮会員：ロータリー財団委員長です。1人100ドルよろしく。
◆町田会員：いちまつしばらく休業します。

本日のニコニコ合計：　48,000円
累　　計　　：265,000円

■お客様挨拶

■東京立川ＲＣ
岡部直人様

皆さんこんにちは。只今ご紹介いただきました2750地区立川ＲＣの50代会長を務めさせていただいております岡部直人と申します。また本日同席しておりますのが幹事の長井守でございます。
立川ＲＣもお陰様で創立50周年を本年迎えることができました。つきましては来年3月26日に記念式典並びに祝賀会を催す予定でございます。本日は是非多くの皆様方にご登録をいただきますようお願いするとともに、また立川は近い場所ですので例会にもおいでいただければと思います。
本年は全体事業として２つの目標がございます。1つは創立50周年事業を一致団結して成功させること。もう1つは現在90名の会員が在籍していますが、あと10名をお招きして100名の会員にすることでございます。50周年事業には多くの皆様のご登録をお願いいたします。
明日金曜日は私共クラブの今年度初めての外部講師を呼ぶ日でございます。第48代横綱の大鵬親方を講師としてお呼びしていますので、お時間のある方は12時半からの例会ですので是非おいで下さい。どうもありがとうございました。

■感謝状授与

■米山功労者
町田清二会員へ

■委員長報告

■二ノ宮ロータリー財団
委員長

暑い中また続けてのお願いで申し訳ありませんが協力をお願いします。財団としまして会員1人あたり100ドルの寄付をお願いします。寄付の方法ですが皆様に封筒を回しますので宜しくお願いします。

■戸澤会員増強委員長

昨日会長・幹事にも出席していただき、たきびにて炉辺会合をいたしました。8月は会員増強月間ということで、当初プログラム委員長より卓話をということでしたが、来週8月6日は4つの班に別れて新会員予定者の推薦討議をするということで決まりました。来週は宜しくお願い致します。

■卓話

■卓話者紹介：飯田会員

■卓話者：野村会員

第100回国際ロータリー年次大会に参加して

今年の国際大会は、イギリスのバーミンガムにおいて6月21日～24日にかけて開催されました。国際大会の雰囲気とイギリス旅行の印象等を時系列的にお話したいと思います。
イギリスの正式国名は、グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国となっていて、国旗はイングランド･スコットランド･アイルランドの集合体でユニオンジャックとなっています。とても複雑な事情があるようです。民族構成はイングランド人83％、スコットランド人8％、ウェールズ人5％、アイルランド人3％、その他。時差は－8時間でサマータイム期間中(日本時間正午→現地午前4時)また、通貨はユーロではなくポンド、ペンス。(1£＝155.5円 7/28現在)
毎年世界大会に出席する事を楽しみに一年かけて、色々な資料を買い込み、頭の中で整理し旅行の夢を膨らませます。今年は、直前に豚インフルエンザという今まで経験したことのない急速な世界的広がりをみせる病気が流行し、かなりの参加希望者がキャンセルしました。当クラブでも当初の半分にまで減少しました。
まずは大会登録者を対象とした結団式が、櫻井ガバナー、オン･ツー･バーミンガム豊田副委員長以下25～26人が集合し、雨がそぼ降る中、6月5日(金)ロイヤルパーク汐留タワーホテル24階中華料理のシュンロンにおいて開催され樺澤さんと2人で参加しました。2580地区に登録した人数に比べ出席者がやけに少なかったのが印象に残っています。(1/5位の出席者)
しかし料理の内容は会費の金額からして、まずまずではなかったかと思います。出席者全員の自己紹介を済ませ2時間はあっという間でした。多くの方々と名刺交換させていただきました。

■6月20日(土)
今回の大会は、出席者が少なかった為、成田への集合は出席者それぞれに交通機関を利用して集まりました。私はリムジンバスの時間がうまく合わなかった為、京王線･山手線･京成スカイライナーと乗り継ぎ成田入りしました。去年に引き続き白川南ＲＣの福山さんも無事到着し、東村山ＲＣ5人、青梅ＲＣ2人、秋川ＲＣ4人の合計12人が集合し、空港内の別室にて多摩地区の結団式を樺澤委員長の司会で執り行いました。この場所に中丸会員が出席していません。何故かというと、中丸さんは早とちりをして往復の航空券を独自のルートで日本航空を手配したものの、我々は英国航空でした。従って、出発時間が我々よりも約30分早くなっていました。よって、結団式には居なかったのですが、無事ロンドンのヒースロー空港で合流しましたのでご安心下さい。この時程携帯電話の便利さを実感したことはありませんでした。定刻より遅れて11時15分頃成田発で約11時間のフライトの後、同日の午後3時頃ヒースロー空港到着。空港のバスターミナルより、観光バスをたった14人で占有し、優雅な旅行の始まりです。成田より美人添乗員小川忍さん同行。30歳代、既婚、子供なしとの事!!途中で夕食を取りながら約3時間半でバーミンガム市内にあるベルフライゴルフ場に付帯するベルフライホテルにチェックイン。ここのコースはライダーカップが行われたＰＧＡ公認の名門コースです。何と4コースもありました。

■6月21日(日)
本大会当日で日本人朝食会に出席すべく朝6時30分集合したところ櫻井ガバナー他御一行様が同宿していました。手配ミスでこちらに来たとの事。我々のバスに同乗して、国立モーターサイクル博物館のバンケットルームへ行くというハプニング。会場には早朝にもかかわらず約600人程の日本人が参加していました。ＲＩ会長のお話と招待者の紹介等で約1時間程で退席し、本大会会場へ登録を済ませに行く途中、今年の地区大会のシンポジウムで講演した藤川パストガバナーに会うことができ、名刺交換させて頂きました。なんと福山さんが藤川さんをご存知だったからです。その後バーミンガム市内見学。バーミンガム市中心部のコンベンションセンター、シンフォニーホール、タウンホール、美術館、博物館を大急ぎで見て回り、再度本大会会場へと向かう。本大会開始時間は14時30分なのでそれまで友愛の家を見て回り持参したバナー5本を取り換えっこして(台湾2、フィリピン1、韓国1、カナダ1)興味のあるブースを2～3軒覗いて、お土産屋を冷やかしていたら昼食を取る時間もなくなり慌てて集合場所へ辿り着きました。本大会会場に入るのに今回はとても苦労しました。というのも、私だけ第1回目の本会議に登録されていて入館証の色が紫色でした。午後からの2回目はピンク色だったのです。毎年会議場に入場するのにそれ程厳しいチェックは無かったのに今回に限っては、入館証を何人ものＳＡＡが目を皿のようにして見ているので、これはマズイと思ったら即座に「ＮＯ!!」と言われ通してくれません。私の他にも入館証をバスに置き忘れてきた方もいましたが、上手くすり抜けられたのに私だけ

何度挑戦してもダメ。交渉の結果とりあえず、登録所に戻って確認してきなさいとの事。延々と歩いて登録所に行き、午後のチケットに取り換えてくれと頼んだらあっさり取り換えてくれました。過去3回の国際大会は、アメリカだったので性格がアバウトで、今回はイギリス人は厳格なのかと思うほかありません。やっと皆のところに辿り着きましたが、この時も中丸さんとの携帯電話の有難さが身にしみました。本大会の様子は別紙を参照ください。持参したＦＭラジオで周波数を合わせたら日本語の同時通訳も聴けましたので、今後世界大会に出席する方はＦＭラジオが必携です。バーミンガムでの国際大会は、今回で2度目で1984年に1度開催されています。また、今大会には154カ国14,900人以上の参加者があったとの事。バスの手配の関係でＲＩ会長講演の途中で会場を後にし、一度ホテルに戻り再度市内のレストラン「リビングルーム」にて夕食。その後ホテルのバーで小沢パストガバナーとお酒を飲む機会があり楽しい一日を過ごすことができました。その晩はいつまでも日が沈むことなく明るい夜でした。後で聞いたら何と夏至の夜でした。

■6月22日（月）
今日からは観光旅行。ストラットフォード･アポン･エイヴォン地区へシェイクスピア生誕の地を訪ねました。革の手袋職人の長男として生まれ1564年4月26日に洗礼を受けている。本人は俳優兼劇作家として活躍し、4大悲劇として、「ハムレット」「マクベス」「リア王」「オセロ」があり、「ロミオとジュリエット」「ヴェニスの商人」等を書き20年間活躍したといわれています。年間数十万人の見学者が来るシェイクスピアセンター、シェイクスピアの生家、シェイクスピアの通った学校、ロンドンから戻って住んだ家の跡地、工事中のスワンシアター、運河などを見て回る。途中で現地のロータリークラブ例会場を発見。何となくオモチャの街のようです。町中は見学者で一杯でとても賑やか雰囲気。お土産屋さんで細かい買い物をしてバスに戻る。バーミンガム市内にある大型ショッピングモールを見学してホテルへ夕方の5時頃に戻り会場となるバーリントンホテルの東京ナイトへ出かける。しかし6時頃にもかかわらず、会場の準備が全くできていなく自分達で椅子をテーブルに運んで勝手に座ってしまいました。早い者勝ち状態!!宴会場が2間有り、ビュッフェ形式の料理と各自でバーカウンターで飲み物を注文する方式でしたが、連絡がうまくいっていなくて、飲み物を注文するたびに代金を請求され大混乱となっていました。その時私の前で飲み物を注文している人物は藤川さんでした。前日の大会会場付近で、福山さんに紹介してもらったばかりだったのですぐにわかりました。ビックリしたのは、お坊さんなのに完璧な英語を喋っていたのに驚きました。後でわかったのですが、サンフランシスコのお寺の主任開教師、曹洞禅インターナショナル会長でした。会場内には5～60人の参加者で生バンドも入って立派でしたが、一生懸命進行役を務めた方に申し訳ないが、何となく纏まりのない宴になってしまったように感じました。

■6月23日（火）
ロンドンへの移動日。1時間程ゴルフ場を散歩。名門コースだけあって、フェアウェーやグリーンがとてもよく手入れされていて素晴らしかったのと、至るところに野生の小さなウサギが沢山跳ねていて、何とものどかな情景についうっとりして、あっという間に出発時間。ロンドンに着いたらもうお昼ご飯。ここで現地女性ガイドが1人付いてくれることになりました。三越デパート店内にある和食堂で久しぶりの日本食で刺身･天麩羅定食でしたが、ご飯が何と表現していいのか最悪の状態!!こちらのお客さんは、これが代表的な日本食として食べているのかと思うと非常に複雑な気持ちにさせられました。三越の玄関付近でたいしたことないお弁当を売っていましたが、1個1000円近い値段がついているのを見て2度ビックリ!!その後は、高級ブティックが並ぶニューボンドストリートへ向かう。ここでも約1時間のショッピングを楽しみ宿泊先のコプソーンタラホテルに到着。このホテルは100年経っている4星ホテルですが設備関係が老朽化していて、部屋も狭く落ち着かない客室でした。夕食は「クアグリーノス」というシーフード中心のモダンなレストランでしたが、料理は有名な「フィッシュアンドチップス」!!鱈のフリッター2枚とフライドポテトが大盛り。見た瞬間に食欲が吹っ飛んで行ってしまいそうなくらいの大雑把な料理。

■6月24日（水）
市内観光の1日。出発→ウェストミンスター寺院。ここは、イギリス王室の教会で歴代の英国国王や王家に多大な功績を残した人だけが永眠する場所で、ダイアナ王妃の葬儀が行われた場所でもある。教会内には入らず外から眺めるだけ。→首相官邸前を通って、ホースガーズ。近衛騎兵隊の司令部で入り口両脇に馬に乗った兵士がいて2時間勤務に就く。馬も兵士も2時間ジーッとしている。→大英博物館。ここでは、西側1階にある古代エジプト･メソポタミア･ギリシャ･ローマの展示をゆっくり鑑賞。必見なのはロゼッタストーン。またパルテノン神殿の彫刻群は返還問題で揺れている。イギリスの博物館や美術館は原則無料となっていて、子供達がリュックサックを背負って先生の説明を聞いている姿をよく見かけます。特にこの大英博物館は、大英帝国が植民地や征服した国から盗ってきたものばかりです。言ってみれば大英博物館の殆どが世界中から盗んできたものばかりだそうです。→バッキンガム宮殿。英国王室の宮殿で衛兵交替式で有名。今回のロンドンは私にとっては35年ぶりの訪問。このバッキンガム宮殿も当然35年ぶりで、その時撮った写真のコピーを持って行ったので、同じアングルの写真を撮るべく場所探しをし、写真を撮ってもらいました。昼食は宿泊先ホテルに近い可愛らしいフランス料理店「ローストビーフ」へ行き再び市内に戻って、テムズ

川に架かるタワーブリッジとロンドン塔を見学。ここでも35年前の写真と同じアングルを探したが、発見できず残念無念!!しかし、ロンドン市内は交通渋滞が酷く見学する時間より移動する時間の方がかかる。→ハロッズデパートへ買い物。建物はレンガ色で1835年にチャールズ･ヘンリー･ハロッズが紅茶専門店として開業。今はアラブの石油王アルファイド氏がオーナーである高級デパートとして有名で、地下1階にはダイアナ妃と息子のドディ氏を偲ぶコーナーがある。夕食はテムズ川に浮かぶエスパニョーラ号の船上にて洋食のコース料理。

■6月25日（木）
いよいよ最終日。9時出発で、世界遺産を見に遠出。まず最初はカッスルクームを訪ねました。ここはコッツウォルズ地方にあり所要時間2時間で到着。ここはイギリスでは1番保存状態の良い14世紀の古い街並み。バスは街の入り口迄で、歩いて緑のトンネルを抜けて約20分位の谷間にある場所。日本の白川郷の藁葺き屋根と同じくらいの厚さの藁葺き屋根の民家があり、実に静かな落ち着いた街でした。織物で有名でブランケットの語源にもなった織物。今でも保存してある建物で生活をしています。→バース。優雅な建築物に囲まれた街並みは世界遺産に登録されています。一番古い建物は1482年に建てられ1680年からパン屋として今でも営業中。→ストーンヘンジ世界遺産。バースから更に2時間程で到着し夕方の4時頃でした。ここではただひたすら広大な原野の中に忽然と巨石が並ぶ今でも説明のつかない遺跡だそうです。紀元前3000年～1600年にかけて作られた神殿。見学するのに日本語解説が聞けるラジオのような機材を借りてストーンサークルのそれぞれのポイントで解説が聞けました。なかなか良くできたシステムだと感心しました。因みにこの近辺の畑にミステリーサークルが発生するそうです。そして最後の夕食は小沢パストガバナーがスポンサーとして名乗りを上げた中華料理でした。最終日とあって大変賑やかで、豪華な料理が並んだ久しぶりに楽しく、美味しい会食でした。

■まとめ
去年も同様でしたが、ＲＩ会長の基調報告の途中で退席することになり残念でした。今後は、大会参加意志をかなり早く確認し、第1回目の午前の部に出席できるよう努力すべきと強く感じます。また、本会議だけでなく大会期間中の色々なイベントにも是非出席したいと思っています。櫻井パストガバナーがおっしゃっていた大会自体をもっと楽しむ方法→閉会式まで参加したいと思います。35年前に感じたイギリスのホテルの部屋は狭く、朝食はコンチネンタルで毎日同じという状況そのままでした。特に食事は正直言って何を食べても旨くない、そんな印象が強く残りました。でもこれも良い経験として前向きに捉えて、来年のモントリオール大会への夢を膨らませようと思います。

■点鐘：枚山会長